

# 多峯主山ハイキング

2005年2月13日(日)「多峯主山(とうのすやま)ハイキング」に出かけました。場所は、埼玉県飯能市。西武秩父線高麗(こま)駅から歩き始めます。駅前には“天下大將軍”“地下女將軍”と書かれた赤い標注が2本立っています。これは、朝鮮半島の村々で見かける守り神なのです。なぜここに...? 奈良時代、朝鮮半島の戦乱から日本に逃れて来た高句麗の人々がここに集められたことによります。

多峯主山に登り、“見返り坂”を下ります。“見返り坂”は、源義経の母常磐御前が、義経を追い東国に向かう際、この山に登り、あまりの景色のよさに来た道を立ち止まっては振り返ったという伝説のある坂。

次に登った“天覧山”は、古くは“愛宕山”と呼ばれ、五代將軍綱吉の母桂昌院が十六羅漢を安置したことで“羅漢山”となり、明治天皇が山麓で行われた近衛兵の演習を山頂からご覧になったことで“天覧山”となりました。

天覧山脇の“能仁寺”は、文亀年間(1501-04)に禅道場として開かれ、綱吉の信任を得て栄えたものの、慶応4年(1868)の飯能戦争にまきこまれました。そして、東飯能駅へ向かう、飯能商店街の街並みは、古く懐かしい雰囲気にも包まれていました。

歴史に頭を悩ます(?)ハイキングでした。



## 天下大將軍・地下女將軍

朝 7 時 45 分、八王子駅横浜線ホームに集まったのは、小野勝彦さん、桜井利子さん、加藤忠さん、加藤純代さん、揖斐京子さん、横山和明さん、津村明彦さん、津村美穂子さん、町田行弘の 9 名でした。津村夫妻は、2002 年春の「関東シルクロード 江ノ島から箱根湯本」に参加し、この時、横山さんも一緒に走りました。さらに、その年の 10 月「高川山ハイキング」に参加、ここで小野さんと桜井さんと会っています。そして、昨年秋の「関東シルクロード 江ノ島から観音崎」に参加しました。ということで、加藤夫妻と揖斐さんが初対面でした。8 時 1 分の八高線川越行に乗り、8 時 42 分東飯能で西武秩父線に乗り換えます。8 時 57 分の電車に乗り、ひとつ目の高麗駅で降りました。“天下大將軍”“地下女將軍”の赤い標注が迎えてくれるこの駅は、2003 年 7 月の「日和田山・物見山」のとき下車した駅です。

“668 年朝鮮半島北部と中国大陸の東北部を 700 年にわたり支配していた高句麗が唐と新羅の連合軍に敗れ、多数の貴族や僧侶が日本に渡って難を逃れたそうです。その中の王族の一人若光は、703 年文武天皇から、王姓をもらい優遇されます。さらに、716 年には、関東周辺の高句麗人 1799 人が武蔵国に集められ高麗郡が置かれます。その首長を命ぜられたのが高麗王若光でした。高麗神社は、若光を祭った神社で、1300 年の歴史があり、宮司は若光の子孫が努め、高麗姓を称して現在 59 代ということです。赤いトーテンポールは、朝鮮半島の村にはいたるところに建てられている守り神です”



## わかりにくい登山口

トイレを済ませ 9 時 15 分歩き始めます。改札正面の道路を南へ向かいます。道は徐々に上っていて、ガイドブックの高低差グラフを見ると、高麗駅が標高 100 メートル、1 キロ先の多峯主山入口が 190 メートルになっています。住宅街を抜け、“多峯主山入口”らしき場所に着いたのですが、標識がありません。ガイドブックを読むと“歩いてきた道が未舗装の山道へ変わる所が山への入口。山道を直進してはいけません。入口から 15 メートルほどの所から始まる右手の細い道を進む。左手に緑のフェンスがあり、フェンスが途切れる所にある小さな石橋を渡ると木段が始まる”なるほどその通り。

## いい眺め

山道を歩き始めて 5 分、暖まった身体の体温調節のため休憩、上着を脱ぎます。そこから 3 分ほどで、天覧山への道との分岐がありますが、多峯主山方面へ向かいます。すぐに分岐があり、どちらも多峯主山。左の石段が男坂で直進が女坂なのです。行きは男坂、帰りは女坂というのが一般的(?)なようで、そうします。急勾配の男坂は、石で階段が作られていて、さらに階段から離れた場所にはクサリが設置されていますが、素直に階段を登れば問題ありません。

10 時、多峯主山到着。標高 270.8 メートルの低山ですが、山頂からの展望は気持ちよく広がっていました。飯能市街はもちろん、西武ドーム、さらに新宿副都心の高層ビル群なども確認できます。暖かい日差しの中しばらくのんびりくつろぎました。





## 見返るほどかな？

10時20分、下山開始、なだらかな女坂を下ります。まず、立ち寄ったのは、八代将軍吉宗に仕え、この地を任された黒田直邦の墓。そして、さらに下ると、どんな日照りが続いても水が涸れたことのないという“雨乞池”があります。ここから、しばらく歩くと、男坂との分岐に戻り、すぐに、高麗駅方面と、天覧山方面への分岐が現れます。今度は、ここを天覧山方面に進みます。やがて、幅の広い木段を下ります。ここが“見返り坂”で、源義経の母、常盤御前がこの山を登ったとき、あまりの風景のよさに後ろを振り返り、振り返り登ったことによりこの名がついたそうです。が、それほど素晴らしいとは思わないのですが…。



## どうして“右”なんだ！

“見返り坂”を下り終えると“飯能笹の群落”が広がり、右への分岐が現れました。ここでガイドブックは、“笹原を抜けるとすぐに、道は直進と右手への二手に分かれる。直進すれば、飯能市街へとつながる車道に出るが、ここは、せっかくなので天覧山コースを選びたい”と紹介。そもそも、天覧山へ行く予定でしたから、右のコースに侵入しました。しばらく歩くと、T字路の分岐となります。こうなるとわからない。方向的には左なので、左折しますが、道は緩やかに下って行きます。みんなに待機してもらい、町田は先の確認に行きました。すると、何かの施設のフェンスが現れ、その先には市街地が広がっていました。ちょうど通りかかったハイカーに尋ねると、右折が間



違っていたことがわかりました。結局、笹原まで引き返し、直進するコースを進と、左に天覧山への登り口がありました。ガイドブックはいったい何を言いたかったんだ？

## 愛宕山・羅漢山・天覧山

天覧山へは、いきなり急勾配の木段の登りから始まりました。木段の幅は、勾配に合わせて広くなったり狭くなったりしながら、山頂まで続いています。約10分で山頂に到着します。山頂には、広さ12畳くらいの展望スペースがあり、ここから明治天皇が近衛兵の演習をご覧になったことから“天覧山”の名がつけました。この山は、麓の能仁寺の守護神である愛宕権現を祀ってあるところから“愛宕山”と呼ばれていました。五代将軍綱吉の母、桂昌院が納めたとい





われる羅漢の石仏にちなんで“羅漢山”となりました。時刻は11時30分、ここで昼食にします。ひとつあるベンチは狭く、みんなが座ることができません。加藤夫妻、揖斐さん、横山さんは、展望台の真下に適当な場所をみつけ移動しました。

12時15分、食事を終えた加藤さんたちが戻ってきました。記念撮影をして、下山開始。展望台右側から下るのですが、直進するのか左側へ展望台の前から下るのか？通りかかった人に聞いてみると、直進が男坂で岩場、左方向は女坂ということ。直進します。目の前に現れたのは、ロッククライマー。ここの岩場で練習中でした。岩場を通り抜け、石段を上ったところに、綱吉の母桂昌院が納めたとされる“十六羅漢像”がありました。少し歩くと女坂と合流し、緩やかに下ると、飯能側の天覧山登山口に到着し、山道は終了しました。



### 参百円は高い？安い？

時刻は、12時45分、能仁寺に立ち寄ることにします。境内は広く、きれいに管理されていて、堂々とした落ち着いた雰囲気があります。この寺は、室町中期、文亀元年（1501年）に禅道場として開かれ、飯能の豪族中山家勝の子、家範が本格的な寺院として創設しました。その後、五代將軍綱吉の信任を得て隆盛を迎えますが、幕末の慶応4年（1868年）、慶喜が大



政奉還した後も抗議を続けた幕臣の一部（振武軍）がここに本営を置いて官軍と戦いました。これが“飯能戦争”です。圧倒的に兵力に勝る官軍が勝利することになるのですが、振武軍の本陣となったこの寺は、そのほとんどを焼失してしまいました。現在の本道は昭和11年に再建されたものです。

津村美穂子さんに「庭園を見学しましょうよ、100円ですって」と言われ、その気になったのですが、よく見ると“参百円”でした。「300円は高いよなぁ」ということで止めにしましたが、後で調べると、ここの庭園は、桃山時代の造園で日本名園百選に入る名園ということ。今度、機会があったら入ったらいかがでしょうか？300円は安いかも？

13時過ぎ、能仁寺を出て、東飯能駅に向かいます。目の前の道路を渡り直進し、突き当たりを左折します。右手に入間川を眺めながら歩くと、飯能商店街に入ります。古い街並みを残すこの商店街は、昔懐かしい香りが漂いますが、ただただ寂れているという悲しさも…。13時45分、東飯能駅に到着。なんとなく、帰るには時間が早いので駅前で一杯組と散歩組に分かれ、14時30分まで自由行動としました。

14時39分の八高線で帰りました。





町田行弘	229-1103	神奈川県相模原市橋本 5-29-12 メゾン・アン・ソレイユ 201 042-773-7415
小野勝彦	194-0041	東京都町田市玉川学園 8-22-2 042-725-8403
桜井利子	194-0001	東京都町田市つくし野 1-32-17 042-796-9591
加藤忠	194-0033	東京都町田市木曽町 651-1 市営 1-201 042-727-8949
加藤純代	194-0033	東京都町田市木曽町 651-1 市営 1-201 042-727-8949
揖斐京子	192-0372	東京都八王子市下柚木 3-3-5-704 0426-79-3894
横山和明	195-0062	東京都町田市大蔵町 2181-4 042-735-5662
津村明彦	243-0401	神奈川県海老名市東柏ヶ谷 5-10-32-301 046-236-0253
津村美穂子	243-0401	神奈川県海老名市東柏ヶ谷 5-10-32-301 046-236-0253

